

穂学

令和2年度

広州日本人学校 学校便り

[No. 20]

令和2年2月3日(水)

発行責任者 校長 喜屋武浩司

「中国にも節分ってあるの？」

例年、2月3日は節分ですね。でも、今年は暦のずれで2月2日が節分となる珍しい年になりました。なんと124年ぶりだそうですが、2025年から4年ごとに再び2月2日になるようです。そうになると、うるう年と似てきますね。もともと、中国の二十四節気である「立春」が春の始まり、その前日が節分。「季節の変わり目には邪気が入り込む」ということから、豆をまいて邪気を追い払おうとしたようです。中国では節分に豆をまく習慣はないようですが、春節でおなじみの爆竹も、元々は大きな音を出して鬼（邪気）を追い払うためのものだったようです。もうすぐ春節。去年はコロナの影響で外に出ない寂しい春節でしたが、今年はどんな春節の風景が見られるのでしょうか。楽しみですね。

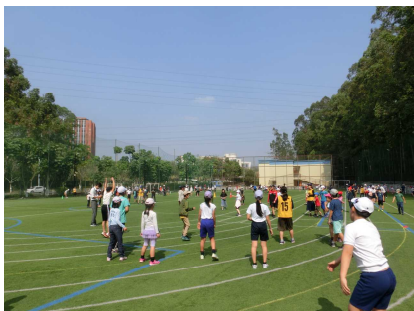


さて、2月に入り、学校ではいろいろな活動がまとめの時期を迎えます。小学部の「キッズタイム」は、2月9日が「ありがとうキッズタイム」として最終回を迎えます。小学1年生～6年生の縦割り活動は、子どもたちが楽しみにしている活動の一つで、6年生がお世話をしてくれました。天気の良い今の時期は外に出て楽しく活動しています。広州日本人学校の伝統の活動の一つです。

次に「委員会活動」。小学部5、6年生、中学部生徒の代表が7つの委員会の分かれて活動をしてきました。それぞれの委員会が、①活動の目標をみんなで作くり、②目標達成の方法をみんなで話し合っ決めて、③役割分担をし、協力してとりくむことで、望ましい集団活動の基礎を学んでいくものです。ここで学ぶ、「話し合い」「決定して」「協力して」「達成する」ことは、大人になった時にとっても大切になりますね。3月4日の最終活動に向け、各委員会は現在まとめを行っているところで、今年度の反省と来年度の抱負を楽しみにしています。

最後は「クラブ活動」。小学部4年生から6年生が所属します。共通の興味・関心をもつ児童によって組織されます。どの学年のメンバーも楽しめるように工夫することを通して、豊かな人間性と社会性を育てます。児童生徒が増えていくことで、それぞれの活動も活発になってきました。2月25日が最終活動となります。

一年を締めくくる活動が有意義にそして思い出深い活動になりますように。



<キッズタイム>



<委員会活動>



<クラブ活動>